

創想館 14-201

2008-5



Tuesday SPRING
13:00-14:30

Spring 2008 Prof.M.Nakajima KEIO Univ. Yagami



2008年度

「情報工学」

第5回講義

Spring 2008 Prof.M.Nakajima KEIO Univ. Yagami



前回学んだこと

- ◆ 覚えていなければいけないこと
- ◆ 答えられなければならないこと

✓ エントロピーの‘最大値’を求める—その2

- ▶ 微分によって、極値(最大値)を求める。
 - ・ 一般的には無理
 - ・ 3事象のみの場合について求めた

✓ 冗長度 γ

- ▶ $\gamma = 1 - (H / H_{max})$
- ▶ 通報の‘無駄さ’の割合

✓ 確率過程をマルコフ過程(遷移確率を加味)と考えた場合、
エントロピー

- ▶ $H_{M1} = - \sum_{i,j=1}^N p(i)p(j/i) \log_2 p(j/i) \quad (\text{bit})$
- ▶ マルコフ過程で考えると、エントロピーは常に小さくなる！



前回学んだこと

- ◆ 覚えていなければいけないこと
- ◆ 答えられなければならないこと

✓ 誤りによる情報量の低減

$$\begin{aligned} \left[\begin{array}{c} \text{誤りがある場合} \\ \text{の情報量} \end{array} \right] &= \left[\begin{array}{c} \text{誤りがない場合} \\ \text{の情報量} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{c} \text{誤りによって} \\ \text{失われる情報量} \end{array} \right] \\ &= \log_2 \frac{1}{\text{その事象が本当に生起する確率}} \end{aligned}$$

✓ 誤りがある場合のエントロピー (送信エントロピー)

$$\text{▶ } H' = H(x) - H(x/y)$$

$$H(x) = - \sum_{i=1}^N p(x_i) \log_2 p(x_i)$$

$$H(x/y) = - \sum_{i=1}^N p(y_i) p(x_j/y_i) \log_2 p(x_j/y_i) \quad \text{あいまい度}$$

前回学んだこと

- ★ 覚えていなければいけないこと
- ★ 答えられなければならないこと

ただ、前回の講義は‘失敗’でした！
 内容が‘多過ぎ’・・・
 多くの学生諸君は、‘消化不良’に陥ってしまったのではないかと
 思います。 申し訳ありませんでした。

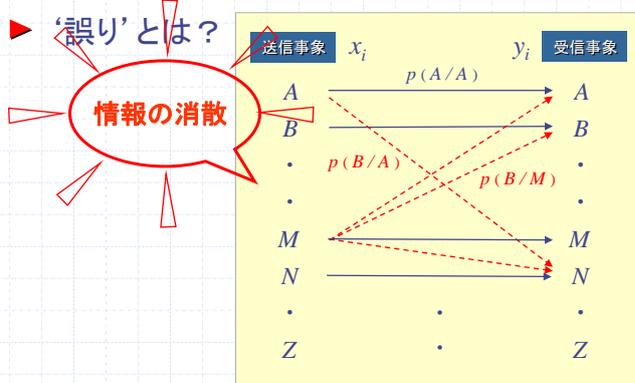
・・・したがって、今日は前回の講義の後半を、
 もう一度やり直したいと思います。

$$H(x) = -\sum_{i=1}^N p(x_i) \log_2 p(x_i)$$

$$H(x/y) = -\sum_{i=1}^N p(y_i) p(x_j/y_i) \log_2 p(x_j/y_i) \quad \text{あいまい度}$$

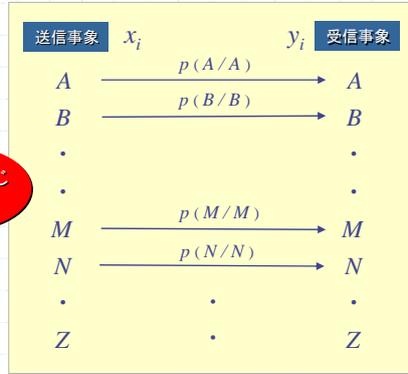
§ 3.3 誤りによる情報量の低減

- ▶ 発言に、‘誤り’があったり、‘嘘’があったりすると、
 その発言者の発言は情報量が低下する。 **常識！**
- ▶ 情報理論では、‘誤り’を‘嘘’を区別しない。
- ▶ ‘誤り’とは？



§ 3.3 誤りによる情報量の低減

「誤り」が生じ
ない場合

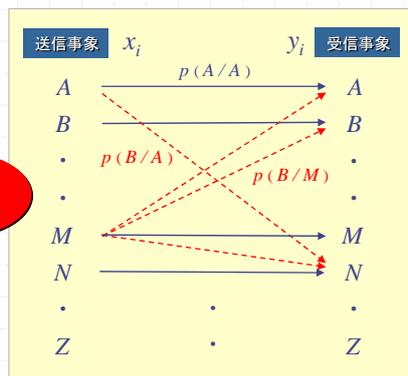


$$\left[\begin{array}{l} \text{誤りがない場合の} \\ \text{送信エントロピー} \end{array} \right] = H(x) = - \sum_{i=1}^N p(x_i) \log_2 p(x_i)$$



§ 3.3 誤りによる情報量の低減

「誤り」が
生じる場合

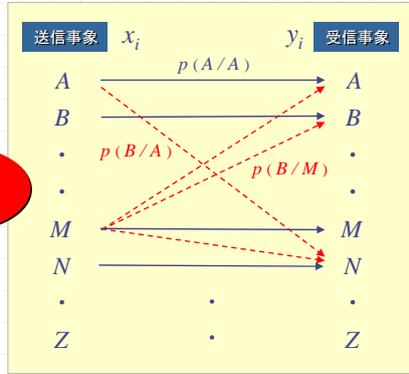


$$\left[\begin{array}{l} \text{誤りによって失われる} \\ \text{送信エントロピー} \end{array} \right] = H(x/y) = - \sum_{i=1}^N p(y_i) p(x_j / y_i) \log_2 p(x_j / y_i)$$



§ 3.3 誤りによる情報量の低減

「誤り」が生じる場合



$$\left[\begin{array}{l} \text{誤りがある場合の} \\ \text{送信エントロピー} \end{array} \right] = \left[\begin{array}{l} \text{誤りがない場合の} \\ \text{送信エントロピー} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{誤りによって失われる} \\ \text{送信エントロピー} \end{array} \right]$$

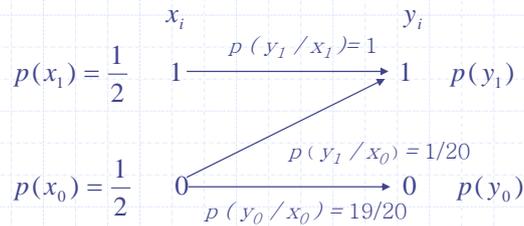


$$H' = H(x) - H(x/y)$$



Example 3.3.1

各通報の生起確率と送信誤り率（遷移確率）が、下図によって与えられる 1, 0 の通報系列に対し、送信エントロピーを算出下さい。



例

送信通報 x_i : 1 0 1 0 1 0 0 1 0 1 1 1 0 1 0 0 ...

誤

受信通報 y_i : 1 0 1 1 1 0 0 1 0 1 1 1 0 1 0 1 ...

誤



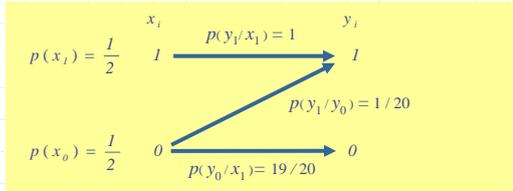
[略解]

$$H(x) = -\sum_{i=1}^2 p(x_i) \log_2 p(x_i) = -\frac{1}{2} \log_2 \frac{1}{2} - \frac{1}{2} \log_2 \frac{1}{2} = 1 \text{ bit}$$

$H(x/y) = ? ? ?$ これを、どう求めるか？

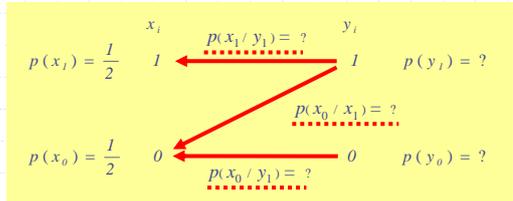
問題から解る情報は...

でも、この情報だけから $H(x/y)$ を計算することはできない。



$H(x/y)$ を計算するためには、

$p(x_1/y_1)$, $p(x_0/y_1)$, $p(x_0/y_0)$ を求めなければならない。



[略解]

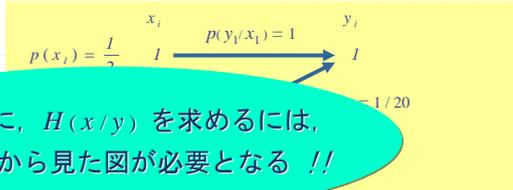
$$H(x) = -\sum_{i=1}^2 p(x_i) \log_2 p(x_i) = -\frac{1}{2} \log_2 \frac{1}{2} - \frac{1}{2} \log_2 \frac{1}{2} = 1 \text{ bit}$$

$H(x/y) = ? ? ?$ これを、どう求めるか？

問題から解る情報は...

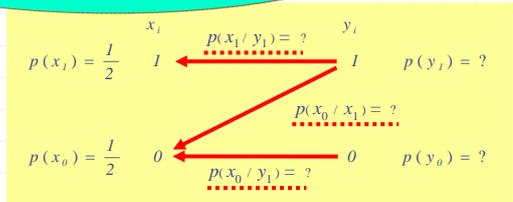
でも、この情報だけから $H(x/y)$ を計算することはできない。

要するに、 $H(x/y)$ を求めるには、受信側から見た図が必要となる !!



$H(x/y)$ を計算するためには、

$p(x_1/y_1)$, $p(x_0/y_1)$, $p(x_0/y_0)$ を求めなければならない。



[略解] . . . つづき

まず, $p(y_1)$, $p(y_0)$ を求めよう.

$$p(y_1) = p(x_1)p(y_1/x_1) + p(x_0)p(y_1/x_0) = \frac{105}{200}$$

$\frac{1}{2}$ 1 $\frac{1}{2}$ $\frac{5}{100}$

同様にして,

$$p(y_0) = p(x_1)p(y_0/x_1) + p(x_0)p(y_0/x_0) = \frac{95}{200}$$

次に, 受信側から見た各遷移確率は?

$$p(x_1)p(y_1/x_1) = p(y_1)p(x_1/y_1) \longrightarrow p(x_1/y_1) = 0.952$$

$\frac{1}{2}$ 1 $\frac{105}{200}$

$$p(x_1)p(y_0/x_1) = p(y_0)p(x_1/y_0) \longrightarrow p(x_1/y_0) = 0$$

$\frac{1}{2}$ 0 $\frac{95}{200}$

$$p(x_0)p(y_1/x_0) = p(y_1)p(x_0/y_1) \longrightarrow p(x_0/y_1) = 0.048$$

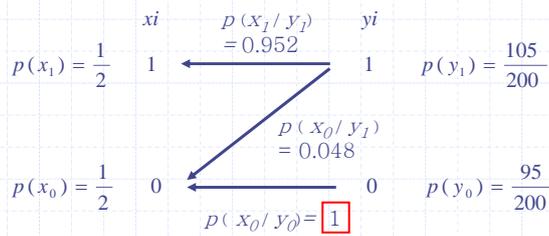
$\frac{1}{2}$ $\frac{5}{100}$ $\frac{105}{200}$

$$p(x_0)p(y_0/x_0) = p(y_0)p(x_0/y_0) \longrightarrow p(x_0/y_0) = 1$$

$\frac{1}{2}$ $\frac{95}{100}$ $\frac{95}{200}$



[略解] . . . つづき



受信側から観察した図

気付いて欲しいこと

- ・ 送信側で観察した場合には, 「1」が信頼できる通報であった.
- ・ しかし, 受信側で観察した場合には, 「0」が信頼でき通報になっている.



[略解] . . . つづき

よって,

$$\begin{aligned}
 H(x/y) &= -p(y_1)p(x_1/y_1)\log_2 p(x_1/y_1) \\
 &\quad -p(y_1)p(x_0/y_1)\log_2 p(x_0/y_1) \\
 &\quad -p(y_0)p(x_0/y_0)\log_2 p(x_0/y_0) \\
 &\quad -p(y_0)p(x_1/y_0)\log_2 p(x_1/y_0) = 0.146 \text{ bit}
 \end{aligned}$$

$\frac{105}{200}$ 0.952 0.952
 $\frac{105}{200}$ 0.048 0.048
 $\frac{95}{200}$ 1 1
 $\frac{95}{200}$ 0 0

よって,

$$H' = H(x) - H(x/y) = 1 - 0.146 = 0.854 \text{ bit}$$



[略解] . . . つづき

よって,

H

$p(x_1) = \frac{1}{2}$	x_i	1	$\xrightarrow{p(y_1/x_1)=1}$	y_i	1
			\nearrow		$p(y_1/y_0) = 1/20 \rightarrow 5\%$
$p(x_0) = \frac{1}{2}$	x_i	0	$\xrightarrow{p(y_0/x_1)=19/20 \rightarrow 95\%}$	y_i	0

要するに、「0」が5%ほど間違っって「1」になってしまうことにより、送信エントロピーは、約15%減少することになる！

よって,

$$H' = H(x) - H(x/y) = 1 - 0.146 = 0.854 \text{ bit}$$



受信エントロピー

ここまで、通信路において‘誤り’が生じる場合の‘送信情報量’（送信エントロピー）を求めてきた。

受信エントロピーという概念もあって良いはず！

▶ ある！…形はこうなる $\implies H'' = H(y) - H(y/x)$ 覚えておくこと！
こちらは、「散布度」という。

ところで…

$H(x) \neq H(y)$, $H(x/y) \neq H(y/x)$ であるが、
必ず、

$$H(x) - H(x/y) = H(y) - H(y/x) \text{ となる！}$$

送信エントロピー

受信エントロピー

すなわち、
通信路を通して伝送される符号の1符号当たりの平均情報量は、
送信側から見ても、受信側から見ても同じということになる。

Example 3.3.2: ○×問題の採点基準について

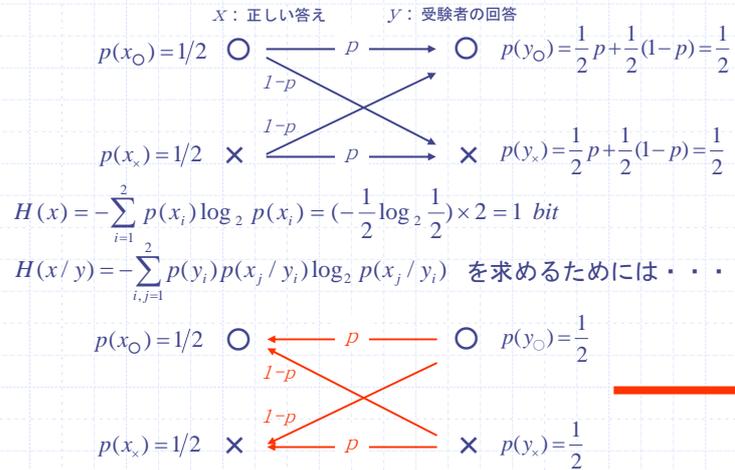
問題数 100 問の ○ × 問題があり、全て正答時の ○ × の割合が 50 問
- 50 問となることが予め知らされている。P 問正解した受験者には、何
点を与えるのが適当か？
情報理論的立場から考えよ！

(考え方)

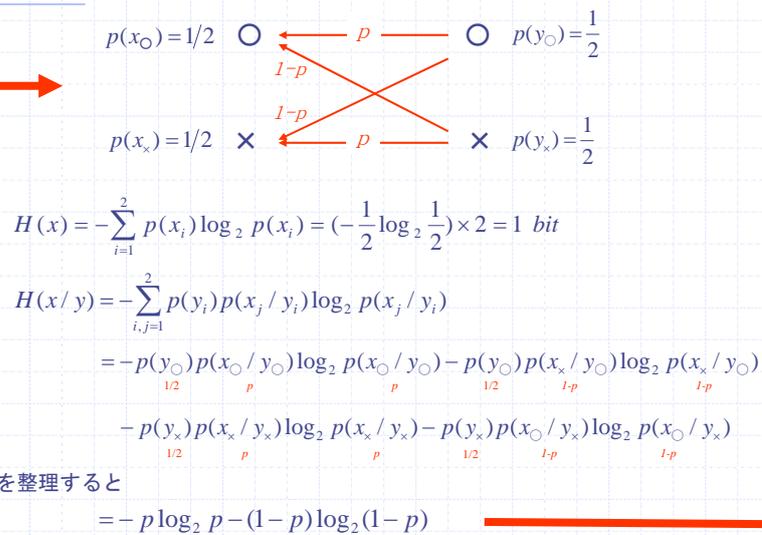
「正答率 p の受験者が、正解 1 問あたりに送信する平均情報量が、
何ビットになるか？」を考えればよい。

[略解]

まず、正答率 $p = P/100$ とする. (P : 正答数)



[略解] つづき



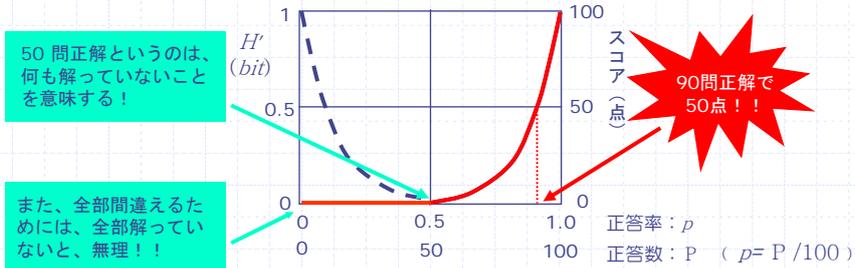
[略解] . . . つづき

$$H(x/y) = -p \log_2 p - (1-p) \log_2 (1-p)$$

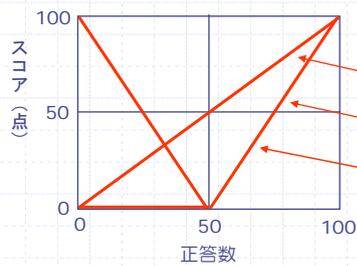
$$\therefore H' = H(x) - H(x/y) = 1 + p \log_2 p + (1-p) \log_2 (1-p) \quad \text{bit}$$

. . . これをもって、正答数 P 問に対する、「送信平均情報量」とすれば良い！

この式をグラフにしてみよう . . .



まとめ



要するに、○×問題の採点は . . .

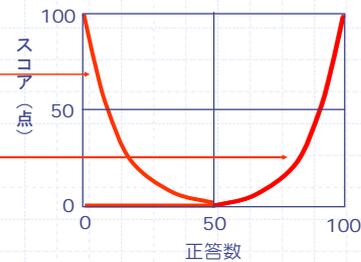
これでは、だめ！

これでも、だめで . . .

これでも、だめ！

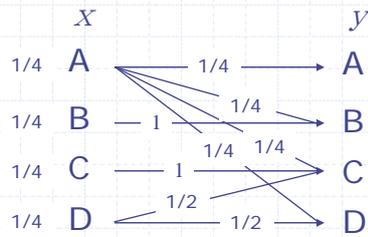
情報理論的には、
これでも良いが . . .

実用的には、
これが良い！



Example 3.3.3

4つの通報 A,B,C,D の送信に関し、下図のような生起確率と送信誤り率（遷移確率）が与えられている。この通信路において伝送されるエントロピーを算出せよ。



宿題：必ずやってくること！

次回、誰かに回答してもらおう！

定期試験は勿論のこと、毎回の授業にも関数電卓を持参のこと！



2008年度

「情報工学」

第5回講義 おわり

